



Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 リリースノート



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 820-2341
2007 年 5 月

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、米国特許、および米国をはじめとする他の国々で申請中の特許が含まれています。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は Berkeley BSD システムより派生したもので、カリフォルニア大学よりライセンスを受けています。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびにほかの国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、Java、Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。Sun のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPEN LOOK および SunTM Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK GUI を実装するか、または米国 Sun Microsystems 社の書面によるライセンス契約に従う米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

この製品は、米国の輸出規制に関する法規の適用および管理下にあり、また、米国以外の国の輸出および輸入規制に関する法規の制限を受ける場合があります。核、ミサイル、生物化学兵器もしくは原子力船に関連した使用またはかかる使用者への提供は、直接的にも間接的にも、禁止されています。このソフトウェアを、米国の輸出禁止国へ輸出または再輸出すること、および米国輸出制限対象リスト(輸出が禁止されている個人リスト、特別に指定された国籍者リストを含む)に指定された、法人、または団体に輸出または再輸出することは一切禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われないものとします。

目次

Sun Java System Web Proxy Server のリリースノート	5
Sun Java System Web Proxy Server リリースの拡張機能	5
NSS 3.11.4 および NSPR 4.6.2 のサポート	5
アップグレードのサポート	6
強化されたハードウェアアクセラレータ暗号化のサポート	6
プラットフォームの概要	6
プラットフォーム要件	6
サポートされているブラウザ	7
ハードウェアとソフトウェアの要件	8
必要なパッチ	8
Solaris のパッチ	8
Linux のパッチ	8
HP-UX のパッチ	9
2007 年の US DST の変更の影響	10
マニュアルへのアクセス	10
障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能	10
修正済みの問題	11
4.0.5 で修正された問題	11
4.0.4 で修正された問題	13
4.0.3 で修正された問題	19
4.0.2 で修正された問題	23
4.0.1 で修正された問題	24
既知の問題点	25
管理	26
キャッシュ	27
マニュアル	28
インストール	28
国際化	28

SOCKS	29
問題の報告とフィードバックの方法	30
このマニュアルに関するコメント	30
Sun が提供しているその他の情報	30
Sun 製品資料の検索	31

Sun Java System Web Proxy Server のリリースノート

このリリースノートには、Sun Java™ System Web Proxy Server 4.0.5 製品 (以後「Proxy Server 4.0.5」または単に「Proxy Server」) がリリースされた時点で利用できる重要な情報が含まれています。ここでは、プラットフォームの概要と既知の問題について説明します。Sun 製品を使い始める前に、このドキュメントおよび関連ドキュメントをお読みください。

このリリースノートには、次の内容が含まれています。

- 5 ページの「Sun Java System Web Proxy Server リリースの拡張機能」
- 6 ページの「プラットフォームの概要」
- 8 ページの「ハードウェアとソフトウェアの要件」
- 8 ページの「必要なパッチ」
- 10 ページの「2007 年の US DST の変更の影響」
- 10 ページの「マニュアルへのアクセス」
- 11 ページの「修正済みの問題」
- 25 ページの「既知の問題点」
- 30 ページの「問題の報告とフィードバックの方法」
- 31 ページの「Sun 製品資料の検索」

Sun Java System Web Proxy Server リリースの拡張機能

最新の Proxy Server リリースには、次の拡張機能が加えられています。

NSS 3.11.4 および NSPR 4.6.2 のサポート

Proxy Server 4.0.5 は、NSS (Network Security Services) 3.11.4 および NSPR (Netscape Portable Runtime) 4.6.2 をサポートしています。

アップグレードのサポート

Proxy Server 4.0.2 リリースからアップグレードの場合、インストーラは、既存の Proxy Server 4.0 インストールから新しいバージョンへのアップグレードをサポートしています。Java Enterprise System の Proxy Server 4.0.1 をインストールしている場合は、新しいリリースに対応するパッチをインストールする必要があります。

強化されたハードウェアアクセラレータ暗号化のサポート

Proxy Server 4.0.5 は、Sun™ Crypto Accelerator 4000 用のハードウェアアクセラレータをサポートしています。これは、プロキシサーバー上で SSL のパフォーマンスを向上させる暗号化アクセラレータボードです。

プラットフォームの概要

この節では、Proxy Server 4.0.5 でサポートされるプラットフォームコンポーネントに関する情報を示します。

この節では、次の内容について説明します。

- [6 ページの「プラットフォーム要件」](#)
- [7 ページの「サポートされているブラウザ」](#)

プラットフォーム要件

次の表は、Proxy Server 4.0.5 プラットフォームの要件についてまとめたものです。

表1 Proxy Server 4.0.5 のプラットフォーム要件

オペレーティングシステム	最小メモリー	推奨メモリー	推奨するディスク容量*
Sun Solaris™ 8 for SPARC®	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 9 for SPARC	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 10 for SPARC	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Sun Solaris 9 for x86	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上

表1 Proxy Server 4.0.5 のプラットフォーム要件 (続き)

Sun Solaris 10 for AMD Opteron™	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 3 Update 4	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 4 Update 2	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2000 Server Service Pack 4	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2000 Advanced Server	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
Microsoft Windows 2003 Enterprise Edition	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上
HP-UX 11i (11.11)	256M バイト	512M バイト以上	512M バイト以上

* キャッシュ容量の設定によって決まります。デフォルトのキャッシュ容量設定は 2G バイトです。

サポートされるオペレーティングシステムに Web Proxy Servers を移動または移行するために必要な措置を講じてください。

サポートされているブラウザ

次の表は、Proxy Server 4.0.5 でサポートされるブラウザを一覧したものです。

表2 Proxy Server 4.0.5 でサポートされるブラウザ

ブラウザ	バージョン
Microsoft Internet Explorer	6.0
Netscape Navigator™	7.1, 7.2
Mozilla™	1.4.1, 1.7.2

ブラウザは Java に対応している必要があります。

ハードウェアとソフトウェアの要件

6 ページの「プラットフォーム要件」に一覧した UNIX オペレーティングシステムのメモリおよびディスク容量の要件に加えて、システムには適切なスワップ容量も必要です。

- Solaris では、少なくともシステムの RAM 容量と同じスワップ容量が必要です (RAM 容量の 2 倍を推奨)
- Linux では、256M バイトのスワップ容量が必要です。

必要なパッチ

適用可能な最新のパッチを使用して、オペレーティングシステムをアップデートすることをお勧めします。必要なパッチをプラットフォーム別に示します。

Solaris のパッチ

Solaris SPARC および x86 では、Proxy Server 4.0.5 に次のパッチレベルが必要です。

Solaris 8 (SPARC)

- 108434-18 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)

Solaris 9 (SPARC)

- 111711-12 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)

Solaris 9 (x86)

- 111713-12 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)

Solaris 10 SPARC

不要

Solaris 10 (x86)

- 119964-03 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)
- 108434-18 (C++ 用の共用ライブラリパッチ)

Linux のパッチ

Linux では、Proxy Server 4.0.5 に次のパッチレベルが必要です。

Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 3

- compat-libstdc++-7.3-2.96.128.rpm

Red Hat Enterprise Linux Advanced Server 4

- compat-libstdc++-33-3.2.3-47.3.rpm compat-libstdc++-296-2.96-132.7.2.rpm

HP-UX のパッチ

- B.11.11.0412-HP-UX 11i オペレーティング環境コンポーネント
- B.11.11.0306.1-11i に付属する必要なパッチ (2003 年 6 月)
- B.11.11.0612.459-HP-UX 11i 用 Gold Base パッチ (2006 年 12 月)
- B.11.11.0612.459-HP-UX 11i 用 Gold Application パッチ (2006 年 12 月)
- PHCO_29109-Pthread の拡張および修正
- PHCO_27633-Pthread.h の修正および新しい拡張
- PHCO_29328-libc man ページ累積パッチ
- PHCO_29495-libc 累積パッチ
- JAVA00B, 1.0.00.02-Java Out-of-Box

Java Out-of-Box ツールは、必要なカーネル調整可能パラメータを構成するために使用されます。カーネルの値を変更するには、このツールを使用することをお勧めします。必要に応じて、次に示す調整可能パラメータが右側の値以上になるように変更してください。

- nkthreads— 3635
- maxfiles—60
- maxfiles_lim—1024
- max_thread_proc—512
- maxswapchunks—2048
- nfile4—136
- ncallout—3651
- nproc—2068



注意 - カーネル調整可能パラメータの変更は、システムに悪影響を及ぼす可能性があります。変更内容を完全に理解していない場合は変更しないでください。

2007年のUS DSTの変更の影響

米国では、3月の第2日曜日にサマータイム (DST) が始まり、11月の第1日曜日に終了します。これは、オペレーティングシステムの日付と時刻の規則に影響を与えます。

ログファイルにUSタイムゾーンの正しい時刻が記録されており、管理サーバーがこの変更の影響を受けていないことを確認するには、次のようにすることをお勧めします。

- 適切なオペレーティングシステムのパッチをダウンロードしてインストールします。Solaris パッチは、<http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-26-102775-1>その他のプラットフォームの場合は、同様の DST 互換パッチをオペレーティングシステムのベンダーの Web サイトからダウンロードしてください。
- Solaris、Windows、および Linux プラットフォームの場合は、JRE 1.4.2_13 を使用してプロキシサーバーを実行してください。HP-UX プラットフォームの場合は、JRE 1.4.2.12 を使用してプロキシサーバーを実行してください。

マニュアルへのアクセス

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 のマニュアルはさまざまな方法で提供されています。

- マニュアル - Proxy Server 4.0.5 のマニュアルおよびリリースノートは、HTML 形式および印刷可能な PDF 形式で参照できます。
- オンラインヘルプ - グラフィカルインタフェースの「ヘルプ」ボタンをクリックすると、関連した内容のヘルプウィンドウが開きます。

障害を持つユーザー向けのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を入手するには、米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を Sun に請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。最新バージョンのアプリケーションは、次のサイトで入手できます。<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html>。

アクセシビリティに対する Sun の取り組みについては、<http://sun.com/access> を参照してください。

修正済みの問題

この節では、次のリリースで修正されたもっとも重要な問題を一覧表示します。

- 11 ページの「4.0.5 で修正された問題」
- 13 ページの「4.0.4 で修正された問題」
- 19 ページの「4.0.3 で修正された問題」
- 23 ページの「4.0.2 で修正された問題」
- 24 ページの「4.0.1 で修正された問題」

4.0.5 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 で修正された問題を示します。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 で修正された問題

ID	概要
6240773	待機ソケットを削除してサーバーを再起動しても、ポートがクリアされません。
6390867	Windows で、キャッシュされた csv ファイルの情報を表示しようとする、cv.exe が失敗します。
6391439	管理インタフェースで DNS サブドメインの有効化オプションをクリアしても、obj.conf ファイルから DNS fn="dns-config" local-domain-levels="0" という行が削除されません。
6413536	webservd はデフォルトユーザーとして使用する必要があり、nobody には設定できません。
6463455	『Proxy server 4.0.5 リリースノート』が更新されて、プロキシサーバーをサポートする Sun Crypto Accelerator のバージョンが記載されています。
6466910	『Proxy Server 4.0.5 管理ガイド』が更新されて、プロキシサーバーを操作するための Sun Crypto Accelerator の設定手順について説明されています。
6482102	プロキシサーバーを経由して接続したときに、特定の FTP サイトから Web ブラウザを通してファイルを取得することができません。
6500200	管理インタフェースに有効期限の切れたページが表示されません。
6500224	SOCKS ルーティングを経由する FTP が機能しません。
6500232	Proxy Server 4.0.5 のオンラインヘルプが更新されて、「Monitoring Server Status」ページに関するヘルプページにキャッシュについての説明が追加されています。
6500547	SOCKS ルーティングを経由する FTP によってファイルが損傷することがあります。
6506550	サブシステムをキャッシュするときに null ポインタアクセスが発生すると、プロキシサーバーがクラッシュすることがあります。

表3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6513846	『Proxy Server 4.0.5 リリースノート』が更新されて、プロキシサーバーがHTTPSのキャッシュをサポートしていないことが説明されています。
6517969	obj.conf と ACL の処理が期待どおりに動作しません。
6520629	管理インタフェースの「Configure Virtual Multihosting」ページで、host-regex にユーザーポート番号が許可されません。
6521610	管理インタフェースの「Set Cache Specifics」ページを使用してキャッシュを有効化した場合、obj.conf ファイル内の "cache-disable" 行が削除されません。
6523139	プロキシサーバーのデバッグビルドでは、ログされない情報があります (切断など)。
6524253	プロキシサーバーのウォッチドッグのコアダンプ。6513846
6524898	キャッシュ構造が cbuid.exe によって作成されている場合、インスタンスの起動後にキャッシュ内の .sects ファイルが空になります。
6525294	ログファイル内の構文に問題がある場合、flexanlg ユーティリティはコアダンプします。
6526297	プロキシサーバーの管理インタフェースの「Manage Section」ページには、すべてのパーティションのすべてのセクションが表示され、パーティション間でセクションを移動する方法が示されます。しかし、この機能は正しく動作しません。
6526354	新しいパーティションを追加するとセクションが1つ作成されます。
6526964	SOCKS v5 サーバーによってセッションが予期せず切断されます。
6526990	Proxy Server 4.0.4 オンラインヘルプのローカライズ版のリンクが正しく機能していません。
6527840	管理インタフェースを使用して SOCKS サーバーをシャットダウンすると、起動時に表示されるのとは異なるメッセージが表示されるようになります。
6528069	プロキシサーバーで使用可能なキャッシュパーティションの最大数は32ですが、Proxy Server 4.0.3 では32個のパーティションを作成できません。
6529305	仮想マルチホストを使用するときに、ホストを大文字で指定すると機能しません。
6534208	4.0.5 リリースでは、バージョンの文字列を変更する必要があります。
6537410	プロキシサーバーは、Web サーバーが接続を閉じるまで、新しい http 要求の受信を待機することがあります。
6537736	プロキシサーバーには、ドメインバッファオーバーフローによる脆弱性があります。この問題は、sockd デーモン内でドメイン名のアドレスタイプを処理する場合に明確に現れます。
6537745	プロキシサーバーには、ドメインバッファオーバーフローによる脆弱性があります。この問題は、sockd デーモン内の s5auth_userpass() 関数で明確に現れます。

表 3 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6538060	プロキシ管理サーバーの startsvr および stopsvr スクリプトが、proxy-admserv405 ではなく proxy-admserv404 を参照します。
6538173	HP-UX では、プロキシインスタンスに待機ソケットを追加しようとすると、管理サーバーにエラーページが表示されます。
6539318	Linux では、ユーティリティ cbuild が機能しません。
6539689	Linux では、グループ ID 80 がすでに存在しているとプロキシサーバーのインストールが動作せず、インストールが失敗しても正しいインストールログが作成されません。
6544263	Proxy Server 4.0.5 オンラインヘルプの英語版が変更されたら、ローカライズ版も更新する必要があります。
6545267	『Proxy Server 4.0.5 Configuration File Reference』のログパラメータに関する情報が更新されています。

4.0.4 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題を示します。

表 4 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題

ID	概要
4973509	Cache-Control 指令が private=list あるいは no-cache=list の場合、複数の値に対してはサポートされていません。
4973523	HEAD 要求はキャッシュされません。
4973652	プロキシサーバーは、65536 バイトの長さの URI をサポートしません。
4999184	プロキシサーバーが Web サーバーをポイントする逆プロキシモードで構成されている場合、Web サーバーがダウンした場合に表示されるエラーメッセージにプロキシサーバーを利用していることが表示されるべきではありません。
5093104	プロキシサーバーの管理インタフェースでは、クライアント IP 転送で HTTP ヘッダーのあとに空白を入れることができます。
6208895	プロキシサーバーを経由して Microsoft IIS FTP サーバーに送信される FTP 要求が機能しません。
6214329	「HTTP4352: zlib internal error」がエラーログとしてエラーに記録されています。
6233086	マルチバイトのユーザー名でクライアント資格を送信する場合、有効性チェックを追加する必要があります。
6243358	削除されたユーザーがグループの一部として表示され続けます。

表 4 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6245972	「Administer Access Control」 ページで設定したユーザー権限が機能しません。
6246562	クラスタを使って別のロケールおよびプラットフォームにインストールされた一連のサーバーの停止に失敗します。
6253844	「zh-cn」ロケールではプロキシサーバーのオンラインヘルプが英語で表示されません。
6255761	インストーラのヘルプページにコンテンツがありません。
6255838	SOCKS サーバーを停止せずにプロキシサーバーインスタンスを削除し、新しいインスタンスを作成すると、ポートが使用中であるため、新しいインスタンスで SOCKS サーバーを起動できません。
6256442	インストーラは、英語で「Password should be at least 8 characters」というエラーメッセージを表示します。
6266497	管理インターフェイスは、重複したポート番号の使用を「Add Server」ページで許可してしまいます。
6268356	Windows で、system32 ディレクトリに libnspr4.dll が存在しない場合に SNMP サービスが動作しません。
6274424	Windows で状態ファイルの defaultInstallDirectory の値が間違っています。インストーラでのデフォルトインストールディレクトリは c:\sun\ProxyServer40 ですが、setup --savestate コマンドを使用して生成された状態ファイルに c:\sun\ProxyServer40 がデフォルトインストールディレクトリとして存在しません。状態ファイルはデフォルトインストールディレクトリとして UNIX テンプレート値を表示します。
6304981	Linux マシンに ksh がインストールされていない場合、プロキシサーバーのインストールが失敗します。
6310283	プロキシサーバーの管理インターフェイスでは、タブに間違ったページコンテンツが表示されることがあります。
6312087	ローカライズされたオンラインヘルプは、関連した内容を表示しません。
6313904	管理サーバーは、別の IP アドレスで使用されているポート番号での待機ソケットの設定を許可しません。
6321797	『Proxy Server 4.0.3 Configuration File Reference』は、flex-init パラメータ no-format-str.access の情報により更新されています。
6331035	負荷分散機能は、正規表現でのみ機能します。
6333355	ACL キャッシュが有効になっている場合、ACL のユーザーおよびグループの定義は LDAP エントリの場合と正確に一致した ACL キャッシュをする必要があります。
6337657	分散管理の構成を試行すると、プロキシサーバーは内部サーバーエラーメッセージを表示します。
6369549	JavaES 5 にプロキシのパッチをインストールすると、Linux にエラーが発生します。

表 4 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6371618	「Compression Level」を「なし」に変更できません。マニュアルに、圧縮レベルとして何を選択するか記述する必要があります。
6380736	「Set GC Preferences」ページで「Explicit GC」を選択した場合、「Schedule GC」ページが表示されません。
6382393	プロキシサーバーはFTPのアップロードを実行できません。
6382692	移行中、3.6 obj.conf内の書式文字列Req->vars.pauth-userはReq->vars.auth-userに変更されるべきです。
6383320	コンテンツファイル名に空白文字または日本語の文字が含まれる場合、キャッシュファイルを削除できません。
6383435	sockd プロセスは、Linux で大量のメモリーを使用します。
6387166	プロキシサーバーの管理インタフェースの「View Server Settings」ページで、MaxProcs 値が表示されません。
6388818	SOCKS サーバーでは、ディレクトリサービス ID をデフォルトにする必要があります。
6390034	libnspr4.dll は、system32 ディレクトリではなく、<install-dir>\bin\proxy\bin ディレクトリで最初に参照されるべきです。
6390054	管理インタフェースのバージョンウィンドウで著作権の年を変更する必要があります。
6399395	「Select Directory Service」ページがディレクトリサービスの選択肢を反映しません。
6402589	http-client-config 機能は、より一層具体的なオブジェクトの設定を適用しません。
6411505	管理インタフェースの「Redirect URL」ページが予想通りに機能しません。
6412129	Proxy Server 3.6 インスタンスに fn= “block-ip” という設定が見つからない場合、Proxy Server 4.0 移行ツールがその行を追加する必要があります。
6414355	Linux でコマンド batchupdate を無効な bu.conf ファイルで実行すると、セグメンテーションのエラーを引き起こします。
6415125	コンパイラを Sun Studio 8 から Sun Studio 10 に変更します。
6416272	サーバーユーザーの変更後、プロキシサーバーが正しく起動しません。
6417755	「Previous」、「Main」、「Next」などのリンクがプロキシサーバーのオンラインヘルプでローカライズされていません。
6419925	プロキシサーバーで、さらに多くのキャッシュ関連の統計情報が必要です。
6423487	オンラインヘルプに DNS 統計を有効にする方法についての詳細が追加されました。
6425025	url-prefix パラメータが明示的に指定されていないかぎり、指令 host-map が機能しません。

表 4 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6425026	プロキシサーバーは Accept-Encoding ヘッダーに基づいてキャッシュオブジェクトを識別する必要があります。
6425038	プロキシサーバーは、cache-local の値を 1 に設定して逆プロキシとして動作している間は query-maxLen を考慮しません。
6425601	特定の状況で、自動ガベージコレクションが機能しません。
6425752	キャッシュからの 304 応答でヘッダーが重複しています。
6426543	キャッシュの反復子の処理でメモリーリークが発生しています。
6427137	プロキシサーバーは応答でマイクロバージョン番号を送信します。
6433285	プロキシのコアエラーメッセージの一部がローカライズされません。
6433776	コマンド cbuild の実行時、.sects ファイルが作成されません。
6433807	Windows で、プロキシサーバーと管理サーバーがスタートアップメッセージに誤ったバージョン番号を表示します。
6434137	プロキシサーバーがタイムアウト時に誤ったエラーメッセージを表示します。
6435491	『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』の第 5 章のサービスの派生についての節で、type パラメータへの参照が削除されています。
6441601	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の第 5 章に、証明書発行局のルート鍵または自己署名アプリケーションをロードする必要性を説明するために注記が追加されています。
6442054	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の第 5 章「SSL を使用した LDAP との通信」節で、LDAP ルート CA 証明書のプロキシサーバーへのインポートについての情報が更新されています。
6442071	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の第 5 章に、管理サーバーへのアクセスのセキュリティ保護について説明する新しい節が追加されています。
6442090	『Proxy Server 4.0.4 Installation and Migration Guide』で、次のことを明らかにするために説明が追加されています。 - Web Proxy Server は root 以外のユーザーとしてインストールできます。 - Web Proxy Server は root 以外のユーザーとして実行できます。
6442091	キャッシュは、期間に必要な遅延を追加して current_age の値を正しく計算できる必要があります。
6442641	Proxy Server 4.0 が、コンテンツ長を指定する CONNECT 要求で正常に動作しません。
6443160	HP-UX では、zlib ライブラリが JavaES 5 向けの製品とともにパッケージされる必要があります。
6443720	アクセスログファイルにログ情報が含まれていない場合は、Log Analyzer に問題がある可能性があります。

表 4 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6443731	Windows 2000 SP4 で JavaES 環境での設定後、システムを再起動する必要があります。
6444332	HP-UX で batchupdate を無効な bu.conf で実行すると、セグメント例外を引き起こします。
6444363	HP-UX で、ルートユーザー以外ではプロキシインスタンスは作成されません。
6444942	存在しないインスタンス上でコマンド cachegc を実行すると失敗します。
6445440	エラーメッセージのローカライズが不完全です。
6446098	HP-UX で「View URL Database」ページに内部エラーがあります。
6446349	HP-UX での負荷テストの結果、mmap() 障害が発生しました。
6446933	『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』で、docs ディレクトリへの参照が削除されています。
6447423	Proxy Server 4.0 で、デーモンの構造が正しく開放されないためにメモリーリークが発生しています。
6447427	Proxy Server 4.0 で、共通クライアントのチャネルの取得中にメモリーリークが発生しています。
6447476	プロキシサーバー管理インタフェースで、キャッシュパーティションのサイズが常に 0 と表示されます。
6450886	socks5.conf パラメータ SOCKS5_TIMEOUT の新しい最大値である 360 分が『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』に記載されています。
6454032	Address 指令が設定されるたびに、プロキシサーバーが同じポートにバインドされます。
6455411	Windows で、プロキシサーバーが JavaES 4 と JavaES 5 の共存をサポートする必要があります。
6459839	キャッシュを使用不可にしてプロキシサーバーを 3.6 から 4.0.3 に移行すると、使用できないサーバーインスタンスが発生します。
6461889	変換されたデータが HTML フィルタによって破壊されました。
6461896	HTML タグフィルタがソースドキュメントを変換した際に、コンテンツ長を更新していません。
6461991	proxyResources.properties ファイルの英語ソースに文字の間違いがあります。
6462366	HP-UX で SOCKS ネームサーバーの設定後、プロキシサーバーの再起動が失敗しました。
6463404	あるユーザーがすべてのプログラムへのアクセスを許可された場合、分散管理が正しく機能しません。

表 4 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.4 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6463927	テンプレートファイル WSPProp.properties に Windows プラットフォームのエントリが含まれます。
6465608	Windows でプロキシサーバーのインストール時に、管理サーバー用に「Stop Admin Server」のショートカットが作成されません。
6465984	ファイル proxyResources.properties に重複したキーが含まれています。
6466452	プロキシサーバーが、インストーラレジストリキーを Entsys から Entsys5 に更新する必要があります。
6467644	Windows Server 2003 Enterprise プラットフォームで、reconfig.bat の実行が失敗しました。
6470294	Windows で、キャッシュのセクションを減らすために cbuild.exe を実行しても、セクションが正しく削除されません。
6473677	JavaES 4 システムでパッチ 120981-08/120982-08 を適用後、プロキシサーバーが起動しません。
6478407	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の第 7 章「SSL が有効なサーバーの起動」節で、起動スクリプトの修正を促す提案が削除されています。
6480637	プロキシサーバーが 1 時間置きにクラッシュします。
6484781	分散管理を有効にしたあと、認証されていないユーザーまで管理サーバーにログイン可能になります。
6485988	『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』の第 5 章の送信エラーについての節が更新されて、Web Server の HTTP レスポンスには送信エラーは影響しないという注記が追加されています。
6505480	HP-UX でのプロキシサーバーのスタンドアロンインストールで、HP-UX 11.11 でのインストールが失敗します。
6519072	Proxy Server 4.0.4 のスタンドアロンインストール用のインストーラには、2007 年の US DST の変更に対応する JRE バージョンが組み込まれている必要があります。対応する JRE バージョンは、Solaris、Windows、および Linux の場合は 1.4.2_13 です。HP-UX の場合は JRE バージョン 1.4.2.12 です。
6519113	『Proxy Server 4.0.4 Configuration File Reference』の第 5 章のエラーについての節が更新されて、エラー応答コード 404 および 500 への参照が削除されています。
6511549	HP-UX でのプロキシサーバーのスタンドアロンインストールで、CLI モードでインストールが失敗します。
6520577	『Proxy Server 4.0.4 管理ガイド』の仮想マルチホスティングについての節が更新されて、まずリバースマッピングを指定してからその他のマッピングを指定すべきであるという注記が追加されています。

4.0.3 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題を示します。

表 5 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題

ID	概要
6191615	起動時に特定の正規表現を URL フィルタとして使用すると、Proxy Server がクラッシュします。
6213012	Windows 上の ROTATELOGS イベントは、指定された時間に起動されません。
6213726	転送時間レポートが、常に「0.00 sec/req」という値を報告します。
6215659	転送時間配布レポートが、常に「< 1 sec [100.0%]」という値を示します。
6239292	アクセスログファイルにログ情報がない場合の、Extended2 形式の Log Analyzer エラー。
6242032	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 7 章の「システムの詳細設定」節での Parent Array の説明が間違っています。正しい説明は、「親配列とは、プロキシまたはプロキシ配列メンバーがルーティングに使用するプロキシ配列のことです」。
6264079	管理インタフェースがディレクトリサービスのデフォルト値である default を上書きします。
6275141	Proxy Server 4.0.2 でファイルキャッシュ機能は GUI に表示され、「Server Manager」>「Caching」>「Configure File Cache」ページに説明がありますが、この機能は実装されていません。
6270693	Filter 指令が要求ごとに 2 回呼び出されることがあります。
6285076	SOCKS サーバーはユーザー認証用に LDAP とパスワードファイルの両方にメソッドが設定されている場合に処理できません。
6285183	Windows で PR_MemUnmap() 呼び出しによってエラーが発生します。
6285791	JavaES 4 の SOCKS サーバーの start コマンド行の問題はこのリリースで修正されましたが、JavaES 4 インストールで作成された既存のインスタンスでは、最新の 4.0.3 パッチにアップグレードしたあとも問題が残ります。アップグレード後に作成された新しいインスタンスにはこの問題はありません。この問題は、Web Proxy Server のスタンドアロンインストールでは発生しません。
6289188	root 以外のユーザーとして Proxy Server 4.0 をインストールし、root ユーザーとして管理サーバーをインストールした場合、管理ユーザーインタフェースでキャッシュ設定を変更すると、キャッシュファイルおよびキャッシュディレクトリのアクセス権が root 以外から root に変更されます。
6292729	「Client IP Addressing Forwarding」のデフォルト設定は「ブロック」にします。
6294282	Proxy Server 4.0 管理インタフェースでパターンに「\」を含むリソースの ACL を正しく設定できません。

表 5 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6294563	アクセスログ形式のデフォルト設定は Web Server とは異なります。
6295286	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 14 章の「逆プロキシの設定」節では、手順 5 で、「/」マッピングは管理 GUI が自動的に表示する「Map Source Prefix:」テキストボックスの内容をユーザーが変更しない場合にのみ追加されることに注意を促す必要があります。
6296870	管理インタフェースにキャッシュセクションテーブルの詳細が正しく表示されません。
6299913	Proxy 3.6 から 4.0 への移行中に ConnAddress 指令が Address に変わりません。
6300480	Proxy 3.6 から 4.0 への移行中に「キャッシュ」タブの設定が正常に移行されません。
6300615	ローカライズされたコアメッセージにメタタグがありません。
6301140	キャッシュが無効になっているプロキシのインスタンスの移行時に、移行によって無効なキャッシュエントリが作成されます。
6303619	default 以外の名前で登録されているデータベースで ACL が正しく機能しません。
6304354	「Do Not Log Client Accesses From」オプションが反映されない構成が作成されます。
6311548	Proxy Server 4.0 はアクセスログに auth-user の代わりに pauth-user を使用します。
6312044	Proxy Server 4.0 管理インタフェースでは、「Monitor Current Activity」ページの「Server Status」タブは「DNS」、「Keep-Alive」、「Cache Statistics」では更新されません。
6313910	Windows では、ヘッダー名の書き換え機能に失敗し、「Internal server error occurred」というメッセージが表示されます。
6313959	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「ファイルキャッシュを設定するには」節の手順 1 の説明は誤っています。正しい説明は、「Server Manager から、「キャッシュ」タブをクリックします」です。
6313960	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「バッチ更新を作成するには」節には、「タイミングセクション」を参照する手順 10 があります。この手順は誤っています。「Set Cache Batch Updates」ページには「Timing セクション」がありません。
6316289	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 12 章の「キャッシュのディレクトリ構造の構築」節には、図 12-2 ではなく、図 12-1 を参照する例が掲載されています。
6325537	管理インタフェースで RqThrottle 値を変更できません。
6325616	定期的な(明示的な)ガベージコレクションでキャッシュがクリアされません。
6328678	管理インタフェースから、ICP timeout 値を 400 ミリ秒未満に設定できません。

表 5 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6331044	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』のまえがきで、「マニュアルの使用」節に、Proxy Server 4 マニュアルの場所を指定しています。 http://docs.sun.com/app/docs/prod/s1.webproxys#hic この節では、次の場所の Proxy Server 4.0.2 マニュアルを指示する必要があります。 http://docs.sun.com/app/docs/coll/1311.2
6334854	Web Proxy Server のドキュメントと sun-web-proxy-server_4_0.dtd に不一致があります。
6337102	Web Proxy Server が DNS fn = “dns-config” local-domain-levels = “8” でクラッシュします。
6338719	Proxy Server のパッチアップグレードが Linux AS 3.0 上で異なる場所にインストールされます。
6338875	Proxy 4.0.1 FTP クライアントがシンボリックリンクを正しく処理できません。
6350957	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 5 章の「待機ソケットのセキュリティーの有効化」節では、セキュリティーは逆プロキシモードでのみ有効にすることができ、順プロキシモードでは有効にできないことが述べられていません。 また、第 8 章の「ユーザーとグループの指定」節では、セキュリティーは逆プロキシモードでのみ有効にすることができ、順プロキシモードでは有効にできないことが述べられていません。
6365433	Proxy Server の管理インタフェースで自動開始オプションが選択されている場合、Proxy Server インスタンスを作成できません。
6367375	親プロキシがある場合、CONNECT とのマッピングが機能しません。
6369095	Proxy Server 4.0 でのメモリーリーク。
6371084	Web サーバーの IP アドレスを使用している場合、連鎖プロキシ環境で SSL サイトの要求が機能しません。
6371618	「Compression Level」を「なし」に変更できません。
6371731	“connect://.*:563” がデフォルトリソースにありません。
6371793	pkginfo は SUNWproxy-l10n の \$distro を表示します。
6373101	管理サーバーが ssl-client-config に対して無効なパラメータを作成します。
6373622	cache-disable SAF が説明されていません。
6374279	WebDAV OPTIONS メソッドへの応答が RFC2518 に準拠していません。
6376065	max-uncheck 関数が予想通りに機能しません。
6376153	Proxy Server 4.0.2 は、ftp/gopher プロトコルのキャッシュを更新しません。

表 5 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.3 で修正された問題 (続き)

ID	概要
6381373	キャッシュがすでに温まっている場合、再起動後の実行中に Proxy Server がクラッシュします。
6381419	Cache-last-checked ヘッダーの値が無効です。
6381424	警告ヘッダーはホストを含んでいるべきです。エージェントのポート値がこのヘッダーを追加します。
6382729	Proxy Server は utf-8 エンコードパラメータを受け入れません。
6383301	Proxy Server 4.0 はチャンネルプールに問題があります。
6383456	Proxy Server 4.0.2 は Linux で高度な CPU を使用します。
6384616	Proxy Server 4.0.3 オンラインヘルプには、文字の間違いがあります。
6385902	アクセスログ設定の設定の形式はデフォルト形式と一致しません。
6387772	バグ (6325537、6303619) が修正されたため OLH の変更をローカライズする必要があります。
6387901	『Proxy Server 4.0.2 管理ガイド』の第 11 章の「プロキシサーバーの連鎖」節は明確ではありません。
6388156	キャッシュファイルのヘッダーが壊れる可能性があります。
6390237	応答にコンテンツの 2 倍の長さのヘッダーが含まれている場合、プロキシは間違ったコンテンツの長さを渡します。
6392875	regex-map が接続のために機能しません。
6393573	DNS fn= "dns-config" local-domain-levels= "1" の場合、Proxy 4.0.2 がクラッシュします。
6394287	SOCKS プロセスが頻繁にポーリングしすぎるため、sockd プロセスが CPU の約 50% を使用しています。
6395473	「遅い」クライアントを処理している場合の Proxy Server 4.0 での高度な CPU 使用問題。
6395889	Proxy Server 4.0.2 を使用している場合に、Windows Server Update Service (WSUS) が機能しません。
6400981	socks5.conf で設定されている SOCKS5_TIMEOUT 値が無視されます。
6402698	FTP クライアントでの高度な CPU の使用。
6418214	Proxy Server 4.0 ガベージコレクション機能での問題。
6424527	cache-control ヘッダーのエントリが空のリクエストでは、処理中に Proxy Server がクラッシュします。

4.0.2 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題を示します。

表 6 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題

ID	概要
5097664	ssl-tunnel-timeout パラメータが Windows で機能しません。
6225025	ftp-listing-width パラメータが正しく機能しません。
6251805	アーカイブのログを変更するとクラッシュします。
6262277	ICP のタイムアウトの最小値を 400 から 50 に変更します。
6292690	Proxy Server 4 で、IE 6.0 を使用して管理インタフェースにアクセスしているときに、「Manage Sections」 > 「Partition」 を使用して元のパーティションを選択できません。
6292786	Proxy Server で、転送時間やその他の時間がアクセスログに書き込まれません。
6308714	umask が 022 に設定されていない場合に、Proxy Server の起動に失敗します。
6310909	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、製品名のバージョン文字列がフランス語ロケールで 2005Q3 から 2005T3 に誤って訳されています。
6310910	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、フランス語ロケールのインストーラメッセージ中のアポストロフが多数欠落しています。
6310944	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、CLI インストーラがライセンスを表示しません。
6310961	Proxy Server 4.0.1 ポイント製品で、スペイン語ロケールのライセンスインストーラ画面の「Yes」がローカライズされていません。
6312723	Proxy Server 4.0 を使用しているときに、IP アドレスで SSL サイトにアクセスできません。
6313981	Proxy Server 4 で、管理インタフェースを使用して新しい逆マッピングを作成したあとで「Rewrite Content Location」および「Rewrite Headername」の値を変更できません。
6315817	複数の同時 CONNECT (SSL トンネリング) 要求によって、スレッドが不足します。
6330348	負荷実行時に Solaris 10 のプロキシプロセスによってメモリーが大量に使用されます。
6333995	CONNECT の負荷テストの実行時にメモリーリークが発生します。
6335919	FTP サーバーが閉じていると、Proxy Server の FTP クライアントの接続が閉じません。
6335922	Proxy Server の FTP クライアントが USER 要求を FTP サーバーに送信しません。

表 6 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.2 で修正された問題 (続き)

6336550	Proxy Server 4.0 インストールを含むディレクトリに Proxy Server 4.0.1 をインストールしようとするエラーが発生します。
---------	--

4.0.1 で修正された問題

次の表に、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題を示します。

表 7 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題

ID	概要
2126143	同じ正規表現がアクセス制御とルーティングでは機能しますが、URL フィルタでは機能しません。
2126380	プロキシサーバーの ICP プロセスのメモリーリーク。
6231283	Linux Red Hat Advanced Server 3.0 上の管理サーバーが起動に失敗します。
6237346	flexanlg ユーティリティが、Extended2 ログファイル形式でのログ分析レポートの生成時に、コアダンプを出力します。
6240767	管理サーバーおよびプロキシサーバーインスタンスの追加/編集待機ソケットが、使用されているポートを確認しません。
6242627	ローカライズされたコアメッセージが表示されません。
6243369	SOCKS に関連するページでマルチバイト文字のエントリは避ける必要があります。
6244103	Linux Advanced Server 3.0 韓国語ロケールでプロキシサーバーインスタンスの「Set Connectivity Mode」ページにアクセスすると、内部サーバーエラーが表示されます。
6245408	管理者ユーザーとプロキシインスタンスユーザーが異なる場合に、新しく追加したパーティションにアクセスすると、内部エラーが表示されます。
6249166	プロキシサーバーへのアクセス時に、URL のホスト名が localhost に置換されると、「Cluster」タブの「Control Cluster」、「Modify Server」、「Remove Server」ページの表示が一致しません。
6253014	Linux Red Hat Advanced Server 3.0 上の obj.conf ファイルに、9つを超える NameTrans ディレクティブが存在すると、init-proxy SAF でクラッシュが発生します。
6254508	セグメンテーションのエラーによって、バッチの更新コマンドが終了します。
6255214	マルチバイト文字から構成されるコンテンツ URL 書き換えページのエントリを編集または削除できません。
6255216	socks5.conf 内の特定の LDAP エントリによって、socksd クラッシュが発生します。
6259314	ローカライズされた一部のオンラインヘルプページが英語のオンラインヘルプページと同期化されていません。

表7 Sun Java System Web Proxy Server 4.0.1 で修正された問題 (続き)

6261440	インストールディレクトリに、重複した英語オンラインヘルプが存在します。
6263694	「Add and Replace Compromised Key List」ページおよび「Add and Replace Certificate Revocation List」ページでオンラインヘルプが利用できません。
6263721	Server Manager の「Add/Replace Cert」ページについて誤ったヘルプページが表示されます。
6274186	サーバーインスタンスを削除できません。
6276398	基本ワークスペースからローカライズされたオンラインヘルプを削除します。
6285078	SOCKS 要求の認証の失敗のエントリがログファイルに記録されません。
6285779	serverID にスペースが含まれる場合に、プロキシサーバーインスタンスが起動できません。
6285788	認証を使用している場合に、SOCKS サーバーがクラッシュします。
6289242	Proxy Server 4 の HTTP Smuggling (スマグリング)。
6293449	Proxy Server 4 が CONNECT メソッドでただちに接続を閉じません。
6295622	関数 ConnAddress は、Proxy Server 4.0 で実現されていません(説明もありません)。
6296169	他のロケールでインストールされた Proxy Server 4 のヘッダー Cache-last-checked が壊れています。
6296225	DNS キャッシュが有効にされている場合に、Proxy Server インスタンスが断続的にクラッシュすることがあります。
6301786	Solaris 9 x86、Linux AS 3.0 で、ローカライズされたコアメッセージが表示されません。
6311463	プロキシプロセスで、時間と共にオープンファイル記述子の数が増加し続け、プロキシのファイル記述子が不足し、接続がドロップします。

既知の問題点

この節では、Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 がリリースされた時点での非常に重要な既知の問題および制限を一覧表示します。問題をカテゴリごとに記述します。

- [26 ページの「管理」](#)
- [27 ページの「キャッシュ」](#)
- [28 ページの「マニュアル」](#)
- [28 ページの「インストール」](#)
- [28 ページの「国際化」](#)
- [29 ページの「SOCKS」](#)

管理

次の表は、管理ユーザーインターフェースに関連した既知の問題を一覧したものです。

表8 管理における既知の問題

ID	概要
6212701	<p>サーバーインスタンスの起動に失敗すると、相反するエラーメッセージが表示されます。</p> <p>管理インターフェースが間違っただけで構成ファイルに書き込む可能性は非常に低いため、この相反するエラーメッセージが表示されることはめったにありません。ユーザーが手動で間違っただけで構成ファイルに書き込んだ場合にのみ可能性があります。</p>
6224535	<p>HTTP クライアントの <code>timeout</code> および <code>retries</code> パラメータは、管理インターフェースを使用して設定することはできません。</p> <p>注 - <code>init-proxy</code> の <code>timeout</code> パラメータが予想通りに機能しません。代わりに <code>http-client-configSAF</code> を使用します。</p> <p>回避策</p> <p><code>timeout</code> パラメータのデフォルト値は5分ですが、<code>obj.conf</code> ファイルの <code>http-client-configSAF</code> に <code>timeout=秒数</code> というパラメータを含めることによって設定できます。</p> <p><code>retries</code> パラメータのデフォルト値は3です。要求の再試行回数は、<code>obj.conf</code> ファイルの <code>http-client-configSAF</code> に <code>retries=再試行回数</code> というパラメータを含めることによって設定できます。</p> <p>有効なタイムアウトは、<code>timeout x (retries+1)</code> となります。</p>
6231297	<p>SOCKS 設定に変更を加えて、SOCKS サーバーの代わりに Proxy Server を再起動した場合は、「Restart Required」リンクが消えます。</p>
6484502	<p>プロキシサーバーの管理インターフェースがローカライズされていません。</p>

表8 管理における既知の問題 (続き)

6509535	<p>米国では、3月の第2日曜日にサマータイム(DST)が始まり、11月の第1日曜日に終了します。これは、オペレーティングシステムとJREの日付と時刻の規則に影響を与えます。</p> <p>プロキシサーバーのスタンドアロンバージョンでは、2007年のDSTの変更に対応するJREバージョンがインストーラにバンドルされています。ただし、回避策の手順1の説明に従って適切なオペレーティングシステムのパッチをインストールすることにより、オペレーティングシステムの日付と時刻の規則への影響に対処する必要があります。</p> <p>JavaES 5のプロキシサーバーのインストールでは、オペレーティングシステムのパッチとともにDST互換バージョンのJREもインストールする必要があります。回避策の手順1および2に従ってください。</p> <p>回避策</p> <ol style="list-style-type: none"> 適切なオペレーティングシステムのパッチをダウンロードして使用します。 Solaris パッチ は、http://sunsolve.sun.com/search/document.do?assetkey=1-26-102775-1 からダウンロードできます。 その他のプラットフォームの場合は、同様のDST互換パッチをオペレーティングシステムのベンダーのWebサイトからダウンロードしてください。 Solaris、Windows、およびLinuxプラットフォームの場合は、JRE 1.4.2_13を使用してプロキシサーバーを実行してください。HP-UXプラットフォームの場合は、JRE 1.4.2.12を使用してプロキシサーバーを実行してください。
---------	--

キャッシュ

次の表は、キャッシュに関連した既知の問題を一覧したものです。

表9 キャッシュにおける既知の問題

ID	概要
6229823	<p>新しいパーティションを追加すると、パーティションのサイズに関係なく、デフォルトのセクションs0.0も作成されます。エラーファイルに警告メッセージが記録されます。</p> <p>回避策</p> <p>cbuildユーティリティーを使用して、新しいパーティションを追加するか、または新しいキャッシュパーティション下のs0.0フォルダを削除し、プロキシサーバーを再起動します。</p> <p>エラーメッセージは無視してかまいません。</p>

マニュアル

次の表は、マニュアルに関連した既知の問題を一覧したものです。

表10 マニュアルにおける既知の問題

ID	概要
6513846	『Proxy server 3.6 管理ガイド』には「Caching Pages Retrieved Using HTTPS」というタイトルの節があります。しかし、プロキシサーバーではHTTPSを使用して取得したページのキャッシュをサポートしていません。

インストール

次の表は、インストールに関連した既知の問題を一覧したものです。

表11 インストールにおける既知の問題

ID	概要
6205683	Windows 上のコンソールインストールに失敗します。
6255325	root ユーザーでないユーザーが Proxy Server をインストールし、 <code>/var/opt/sun/install</code> ディレクトリが存在しない場合、インストーラは例外をスローし、Linux でのインストールは失敗します。
6353576	サイレントアップグレードインストールが機能しません。

国際化

次の表は、国際化に関連した既知の問題を一覧したものです。

表12 国際化における既知の問題

ID	概要
6233080	ルーティングが別のプロキシサーバーを使って設定されている場合、「Disable Proxying」オプションはマルチバイトデータ (URL エンコード) の URL では機能しません。
6233090	マルチバイトデータ (URL エンコード) の URL をマップできません。
6253844	プロキシサーバーのオンラインヘルプは zh-cn (簡体字中国語) をサポートしていません。

表 12 国際化における既知の問題 (続き)

6297168	<p>異なるシステムエンコーディングでサーバーを起動すると、そのシステムエンコーディングのシステムによってエラーが発生し、エラーログに記録されます。管理サーバーから表示すると、エラーログには正しく表示されないシステムエンコーディングの文字が含まれる場合があります。</p> <p>回避策</p> <p>エラーログが管理インタフェースで正しく表示できるように、ブラウザのエンコーディングを OS ロケールに合うように変更します。しかし、この手順は他のページに移動して「View Error Log」に戻るたびに必要となります。</p>
6300080	<p>プロキシサーバーのコンテンツ書き換え関数が矛盾しています。</p>
6526476 および 6526488	<p>HP-UX でのプロキシサーバーのスタンドアロンインストールでは、GUI モードでインストールを行うと日本語の文字が正しく表示されません (ID 番号 6526476)。そのままインストールを続行すると、インスタンスの作成中にエラーが発生します (ID 番号 6526488)。</p> <p>回避策</p> <p>次のいずれかの回避策を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ HP-UX の日本語ロケールでは CLI モードのインストールを使用します。 ■ 文字が破壊されて表示されていても、インストールを続行します。インストーラがインスタンスの作成に失敗した場合は、管理インタフェースにログオンしてインスタンスを作成します。
6550995	<p>次のエラーメッセージは、どのロケールに対してもローカライズされていません。</p> <p>HTTP7774: received extraneous data following response</p>

SOCKS

次の表は、SOCKS に関連した既知の問題を一覧したものです。

表 13 SOCKS における既知の問題

ID	概要
6245453	<p>更新抑制機能は GUI に表示され、「Server Manager」>「SOCKS」>「Configure SOCKS v5」ページに説明がありますが、この機能は実装されていません。</p>
6263389	<p>Windows で同じポートを使用して SOCKS の 2 つのインスタンスを起動すると、エラーがレポートされません。</p>

表 13 SOCKS における既知の問題 (続き)

6285791	JavaES 4 の SOCKS サーバーの <code>start</code> コマンド行の問題はこのリリースで修正されましたが、JavaES 4 インストールで作成された既存のインスタンスでは、最新の 4.0.3 パッチにアップグレードしたあとも問題が残ります。アップグレード後に作成された新しいインスタンスにはこの問題はありません。この問題は、Web Proxy Server のスタンドアロンインストールでは発生しません。
---------	--

問題の報告とフィードバックの方法

Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 の使用にあたって問題が発生した場合は、次のいずれかの方法で Sun のカスタマサポートにお問い合わせください。

- Sun ソフトウェアサポートサービスオンラインの Web サイト
<http://www.sun.com/service/support/software>
- 保守契約を結んでいるお客様の場合は、専用ダイヤルをご利用ください。

最善の問題解決のため、サポートに連絡するには次の情報をご用意ください。

- 問題が発生した状況および操作への影響などの、問題の具体的説明
- マシン機種、OS バージョン、および、問題の原因と思われるパッチやその他のソフトウェアなどの製品バージョン
- 問題を再現するための具体的な手順の説明
- エラーログやコアダンプ

このマニュアルに関するコメント

弊社では、マニュアルの改善に努めており、お客様からのコメントおよびご忠告をお受けしております。コメントは下記よりお送りください。<http://docs.sun.com/app/docs/form/comments>

Sun が提供しているその他の情報

Sun Java Systems の有用な情報は、次の場所から入手できます。

- Sun Java System Web Proxy Server 4.0.5 のマニュアル
<http://docs.sun.com/coll/1720.1>
- Sun ソフトウェア製品およびサービス
<http://www.sun.com/software>
- Sun 開発者向け情報
<http://developers.sun.com/>

- Sun 開発者サポートサービス
<http://developers.sun.com/prodtech/support/>
- ソフトウェアサポートサービス
<http://www.sun.com/service/support/software/>
- Sun サポートおよびトレーニングサービス
サポート:<http://www.sun.com/support>
トレーニング:<http://www.sun.com/training/>
- Sun コンサルティングおよびプロフェッショナルサービス
<http://www.sun.com/service/sunjavasystem/sjsservicessuite.html>

Sun 製品資料の検索

Sun 製品資料の検索には、docs.sun.comSM Web サイトだけでなく検索エンジンも使用することができます。その場合は検索フィールドに次の構文を入力します。

```
<search-term> site:docs.sun.com
```

たとえば、「Web Proxy Server」を検索するには、次のように入力します。

```
Web Proxy Server site:docs.sun.com
```

検索に java.sun.com、www.sun.com や developers.sun.com などほかの Sun Web サイトも含めるには、「docs.sun.com」の代わりに「sun.com」を検索フィールドに入力します。

